

かがやく未来

学力向上 特別号

敦賀市立松原小学校
平成29年11月1日

4月に、6年生を対象に「全国学力・学習状況調査」が実施されました。その結果の分析から、松原小学校の児童の特徴や課題が見えてきました。これは、6年生だけでなく松原小学校全体の傾向と考えられます。これらの分析をもとに、学校では指導方法の改善に取り組み、「学力」のみならず、「生きる力」の向上をめざしていきます。ご家庭でも、これらの課題を共有していただき、ご協力・ご支援をよろしくお願いいたします。

教科(国語・算数)に関する結果から

<松原小のよい傾向>

【国語】「言語についての知識、理解、技能」の定着が昨年度に引き続き良好です。「話す力・聞く力」も向上してきています。

【算数】基本的な計算や図形についての技能が向上してきています。今後もさらに定着するように努力します。



<松原小の課題>

国語

- ◆ 目的に応じて、必要な情報を見つけて読むこと。
- ◆ 目的や意図に応じて、内容の中心をはっきりさせて詳しく書くこと。
- ◆ 手紙の書き方についての理解。

<設問例「国語A」>

松本さんは、手紙の後付けを書こうとしています。ウの中に入る内容の組合せとして最も適切なものを次の中から選び、その番号を書きましょう。

1 ア自分の名前 イ日付 ウ相手の名前
2 ア日付 イ相手の名前 ウ自分の名前
3 ア相手の名前 イ日付 ウ自分の名前
4 ア日付 イ自分の名前 ウ相手の名前

2

松本さんは、昔の人のくらしに興味を持ち、学校の近くにある歴史資料館へ行きました。その後、お世話になった資料館の山村さんにお礼の手紙を書いています。次の「山村さんへの手紙」をよく読んで、あとの問いに答えましょう。

「山村さんへの手紙」

緑が美しい季節となりました。先日はお会いできて、歴史資料館を案内していただき、ありがとうございました。実際に資料館を見学することで、昔の人々のくらしについて考えることができました。

特に興味を覚えたのは、昔の生活の様子を再現したジオラマです。せんたく機を使っていたらうと、せんたく機だけでは落ちないような汚れがきれいにならなうのでびっくりしました。また、これを落とすには時間がかり、うでがいたることを実感しました。今は自動でせんたくができて、その間に他の仕事をすることもできます。でも、昔せんたく機を使っていたとき、長い時間をかけてせんたくをしたことが、今回の見学を通して分かりました。

昔のくらしのよいところや大変なところを知ることができ、とても調べてみたいと思いました。これからも、いろいろなことをわたしたちに教えてください。

ウ ア イ

算数

- ◆ 「量と測定」に関する問題。
 - ・ 重さ、長さの比較や数直線の活用
- ◆ 「割合」に関する問題
- ◆ 「知識・理解」は良好であるが、「数学的な考え方」が問われる問題。

<設問例「算数B」>

月は、地球のまわりを回りながら、地球に近づいたり、はなれたりしています。月の大きさは実際には変わりませんが、月が地球に最も近づいたときに、最も大きく見え、地球から最もはなれたときに、最も小さく見えます。

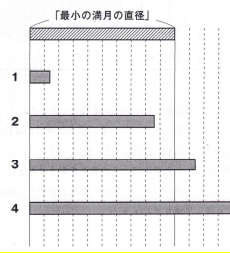
地球から見える満月を円とみて、最も大きく見えるときの見かけの直径を「最大の満月の直径」、最も小さく見えるときの見かけの直径を「最小の満月の直径」ということにします。

「最大の満月の直径」と「最小の満月の直径」を比べたとき、「最小の満月の直径」をもとにすると、「最大の満月の直径」は約1.4%長いです。



(1) 「最小の満月の直径」を□、「最大の満月の直径」を■として、図に表します。

「最小の満月の直径」をもとにして「最大の満月の直径」が1.4%長いことを表しているものを、下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。



<今後進めていきたい対策>

- 基礎的な知識・技能の定着は、今まで通り重視していきます。
- 授業や学校生活の中で、要点をまとめ、自分の考えや理由をしっかりと伝える（話す・書く）活動を大切にしていきます。
- 資料を読み取ることや、いろいろな解き方を工夫、説明する活動等「考える」活動の機会を授業で増やしていきます。
- 読書活動では量・質の向上を目指した指導を進めていきます。

児童質問紙(学習習慣、生活習慣、社会性等の質問)から

	質問内容(特徴を表している項目)
◎	学校に行くのは楽しい。
◎	学級みんなで協力して何かやり遂げ、うれしかったことがあります。
◎	学校のきまりを守っています。
▲	地域や社会で起きている問題や出来事に関心があります。
▲	新聞を全く読みません。
▲	家で予習・復習など自主的に学習しています。

<松原小のよい傾向>

学校生活に真面目に取り組み、学校での活動を楽しみながら行い、達成感を持っている児童が多いことが伺われます。明るく、元気な松原っ子を表していると思います。

<松原小の課題>

- 地域や社会への関心が低いです。(昨年度も同様です。)
- 家庭での学習や読書の時間が少なく、自ら進んで学習する態度に弱さが見られます。
- 「寝る時刻」「起きる時刻」「朝食」といった、生活習慣が安定していない児童が、全国平均よりやや高い傾向があります。

保護者の皆様のご協力をお願いします

基本的な生活習慣を身につけるために

長時間、テレビやゲームをする割合が高くなってきています。基本的な生活習慣を早期から身につけることが大切です。低学年のうちから、よい生活習慣が定着するよう支援をお願いいたします。

家庭学習の習慣をつけるために

学年に応じた家庭学習時間を確保できることが望ましいです。学校では、自ら進んで、学習できる力を育てていきます。ご家庭でも、低学年から家庭読書や家庭学習の習慣をつけるために、ご協力をよろしくお願いします。

地域や社会に目を向けるために

地域や社会に目を向ける体験や、それに関わる会話を少しでも多く取り入れたたり、新聞を読むことを勧めたりすることで、子どもは視野を広げ、学ぶことへの興味・関心を高めます。地域や社会に目を向けることは、教養を高め、成長の基礎になると思います。また、ご家庭で、お子様の将来のことについて話す機会を設けることも、お子様の今後の生き方や考え方に大きく役立つと思います。

学校と保護者の皆さんで協力して、かしこく元気な「松原っ子」に育てましょう！

